

事例3

利用者プロフィール

氏名：Cさん（55歳／男性）
居住状況：1人暮らし
身体状況：知的障害、療育手帳所持
親族状況：妻は入院中



本事業利用のきっかけ

市町村より「入院中の妻の買物を頼むと同じ物を何度も買って届けてしまうなど、金銭管理に問題があるため相談に乗ってほしい」との依頼が入る。家計簿は、しっかりつけているので当初は問題がないように見受けられたが、消費者金融からの借り入れ、家賃の滞納、食料品代の未払い等が見られるため、本人をはじめ、担当のケアマネジャーとも話し合い、事業の利用となった。

援助の内容

家賃、ローンの返済、公共料金等の支払いは、これまでの現金支払いから、徐々に口座引き落としに変更。生活支援員による毎月2回の訪問時に、生活費を2回に分けてお届けしている。時折、本人から額が少ないと言われることもあるが、ローン返済中であることなどを説明し、じっくり話し合いながら援助を続けている。

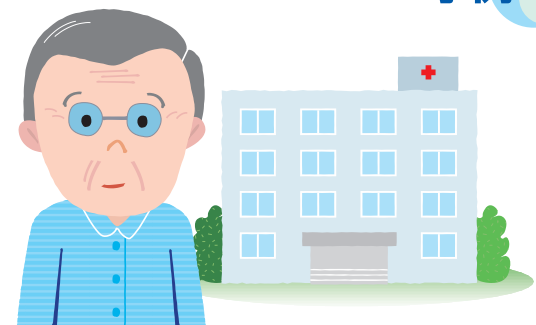
福祉サービス利用援助

日常的金銭管理サービス

事例4

利用者プロフィール

氏名：Dさん（64歳／男性）
居住状況：病院入院中
身体状況：精神障害、アルコール依存症
親族状況：妻とは離婚。1人暮らし。



本事業利用のきっかけ

市町村の生活保護担当より、「本人は入院中であるにもかかわらず、住所不定の2人の男性が本人宅に寝泊りし、本人が困っている」との相談が入る。本人の金銭の管理をお願いしたいとの依頼である。以前は、この男性たちと持ちつ持たれつの生活をされていた様子。

援助の内容

契約当初は、入院中のため入院費や光熱水費の支払いを援助した。その後、一時退院をしたが、目の具合が悪く再入院をされ、両目の手術を実施。片方の目は手術の甲斐なく回復しなかったが、もう片方が少し見えるようになったと喜んでいる。近々退院になる見込みであり、現在、家に帰ってからの援助について調整中である。退院後はホームヘルパーの利用を予定しており、買物代と小遣いのお届け、公共料金の支払いを支援する予定。

福祉サービス利用援助

日常的金銭管理サービス